

施策評価調書(23年度実績)

施策コード I-9-(2)

政策体系	施策名	感染症・伝染病対策の確立	所管部局名	福祉保健部、農林水産部、生活環境部		長期総合計画頁	73
	政策名	危機管理の強化	関係部局名	福祉保健部、農林水産部、生活環境部			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	感染症対策(健康危機管理)の推進	家畜伝染病対策の強化	生活環境対策

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)				
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125
i	①	H21	45	45	45	100.0%	45	45					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i	達成 国は「新型インフルエンザ対策行動計画(平成21年2月改定)」において抗インフルエンザウイルス薬の備蓄目標を国民の45%としており、これに基づき、県民の45%以上となる約55万人分の抗インフルエンザウイルス薬を県内に確保できている。	達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・新型インフルエンザ医療従事者向け研修会を行い、124名がパンデミック後の対策等について研修し、知識の向上を図った。
②	・平成22年度に大分市及び宮崎県で発生した高病原性鳥インフルエンザに係る移動制限により損失を被った養鶏農家7戸に対する経済的補てんを迅速に行ったことで、当該養鶏農家の経営の安定が図られた。
③	・生体検査での口蹄疫早期発見体制の強化 ・簡易キットによる鳥インフルエンザの即時検査体制の確立

【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 健康危機管理対策推進事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	-	2,449
②	1 家畜伝染病緊急防疫体制整備事業	現状維持	124	27,407
	2 県産粗飼料流通拡大事業	現状維持	125	11,768

【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①～③の全てにおいて、概ね順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・期限切れとなる抗インフルエンザウイルス薬の更新 ・結核やエイズ等を含めた幅広い感染症対策の推進 ・家畜伝染病発生時における迅速かつ柔軟な対応が可能な体制の維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・口蹄疫が(株)大分県畜産公社で発見された場合、と畜場が閉鎖となり、県内でのと畜ができなくなるため、体制の整備が必要

【VII. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会(H23.10) ・感染症について、日本脳炎、肺炎、エイズも増えているので記載したらどうか。

【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
現状維持	<ul style="list-style-type: none"> ・期限切れとなる抗インフルエンザウイルス薬の更新を行う。 ・結核やエイズ等を含めた幅広い感染症対策を推進する。 ・防疫資機材については、伝染病発生時に確実に使用できるよう使用期限や経年劣化等に考慮し、年度間の平準化を図りながら計画的な更新を行っていく。 ・と畜場が閉鎖となる事態を避けるため、感染動物を早期に発見するための検査体制の整備を行っていく。